

2020年12月期第2四半期決算 及び中期経営計画の進捗状況

2020年8月7日

コクヨ株式会社

代表取締役社長 黒田 英邦

1. 2020年12月期 第2四半期実績
2. 2020年12月期 通期目標
3. 第2次中期経営計画の進捗
4. 参考資料

※ それぞれのドメインは以下のように表記しています。

空間価値ドメイン	空間価値
ビジネスサプライドメイン	Bサプライ
グローバルステーションナリードメイン	GST

※ 億円未満を切捨てています。
そのため内訳と合計及び差額が一致しない場合があります。

▶ 2020年第2四半期実績

- ✓ コロナ影響により4月以降事業環境が急速に悪化、空間価値における納品・施工延期やGSTを中心とした海外経済環境悪化により大幅な減収
- ✓ 減収に伴う売上総利益の減少と販管費率上昇により大幅減益
- ✓ 営業外損益及び特別損益の悪化により減益幅拡大
- ✓ 緊急事態宣言解除後に業績は回復傾向にあるも依然不透明

▶ 2020年通期目標

- ✓ 空間価値における案件確保動向が不透明な影響等により大幅な減収減益を見込むものの、各事業において収益改善に向けた動きは見られる
- ✓ 大きく変化した現在の事業環境を成長に向けたチャンスと捉え、新たな事業を常に生み出し育てられる企業を目指し、改革に着手
- ✓ 足元の業績や株主還元方針、財務健全性等を考慮し、前年配当額維持により長期的に期待して頂いている株主様に報いる

コロナ影響により各事業への影響が不透明な情勢となったことから2020年業績予想を取り下げ
配当についても業績との連動性を考慮していることから、2020年予想を取り下げ

(億円)

	1~6			1~12		
	2019	2020		2019	2020	
	実績	期初予想	修正予想	実績	期初予想	修正予想
売上高	1,676	1,760	未定	3,202	3,340	未定
営業利益	116	121	未定	167	174	未定
経常利益	126	127	未定	181	185	未定
当期純利益	96	87	未定	153	154	未定
1株当たり配当額	18.50	22.50	未定	39.00	45.00	未定

* 修正予想は、業績修正時のものです。

顧客及び従業員の安心安全を第一に、社会企業として事業継続との両立を目指す

顧客の安全

- ・国内ファニチャー事業における納品・施工の原則停止(緊急事態宣言時)
- ・顧客等を招いて自社が主催するセミナー・イベントを禁止し、オンラインでの情報提供を実施

従業員の安全

- ・安全確保のガイドラインの策定と運用（オフィス内飛沫感染対策等）
- ・働く場所の柔軟化(出勤率50%以下、コミュニケーション手段の使いわけ等)
- ・働く時間の柔軟化(時差出勤の奨励、業務の見直し等)

事業継続

- ・社会インフラを提供する企業としての責務を果たす
- ・自社の技術を活用した社会貢献も兼ねた商品提供の実現

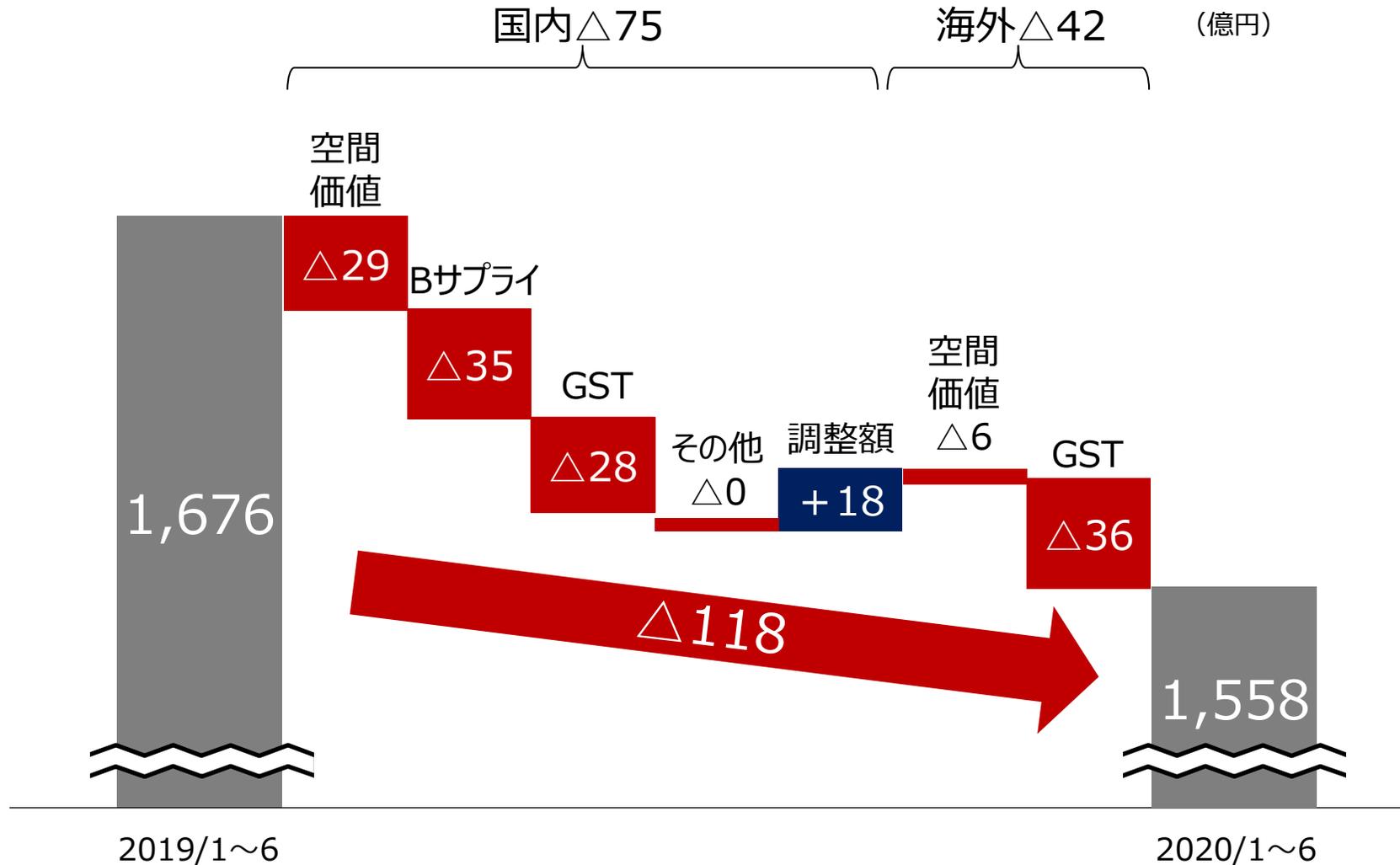
1. 2020年12月期 第2四半期実績
2. 2020年12月期 通期目標
3. 第2次中期経営計画の進捗
4. 参考資料

第1四半期は好調に推移したものの、コロナ影響によって状況は一転し、第2四半期は大きく悪化
販管費見直し等により第2四半期の黒字は確保するも、依然として先行きは不透明

(億円)

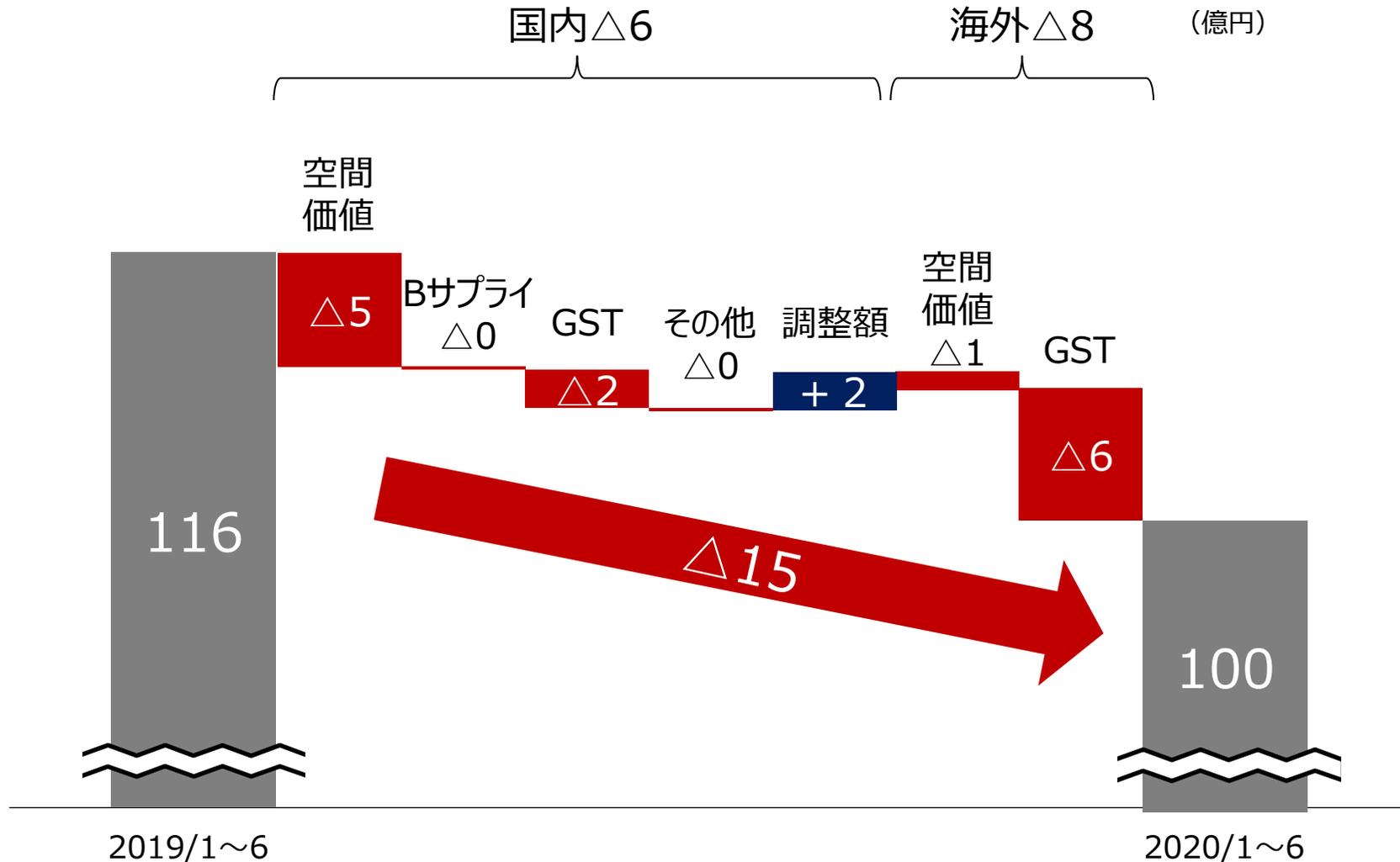
	2019 1~6	2020 1~6	差額	増減率	2019 4~6	2020 4~6	差額	増減率
売上高	1,676	1,558	△118	△7.1%	783	655	△128	△16.4%
売上総利益	613	576	△37	△6.1%	280	227	△52	△18.6%
(率)	(36.6%)	(37.0%)	(+0.4p)		(35.7%)	(34.8%)	(△1.0p)	
販売費及び一般管理費	497	475	△22	△4.4%	246	216	△29	△12.2%
(率)	(29.7%)	(30.5%)	(+0.8p)		(31.4%)	(33.0%)	(+1.6p)	
営業利益	116	100	△15	△13.2%	33	11	△22	△65.8%
(率)	(6.9%)	(6.5%)	(△0.5p)		(4.3%)	(1.8%)	(△2.5p)	
経常利益	126	94	△31	△25.0%	35	5	△29	△83.9%
(率)	(7.5%)	(6.1%)	(△1.5p)		(4.5%)	(0.9%)	(△3.6p)	
四半期純利益	96	62	△33	△35.0%	24	2	△22	△91.0%
(率)	(5.8%)	(4.0%)	(△1.7p)		(3.2%)	(0.3%)	(△2.8p)	

国内：各ドメインにおいて4月に入って以降急速に状況は悪化
 海外：国内に先んじて第1四半期より事業環境悪化が顕在化



2020年12月期 第2四半期実績 (営業利益分析：対前年) **KOKUYO**

国内：経費削減に取り組むも、売上総利益減少と販管費負担増により減益
 海外：経済のロックダウン影響により、事業活動停滞継続

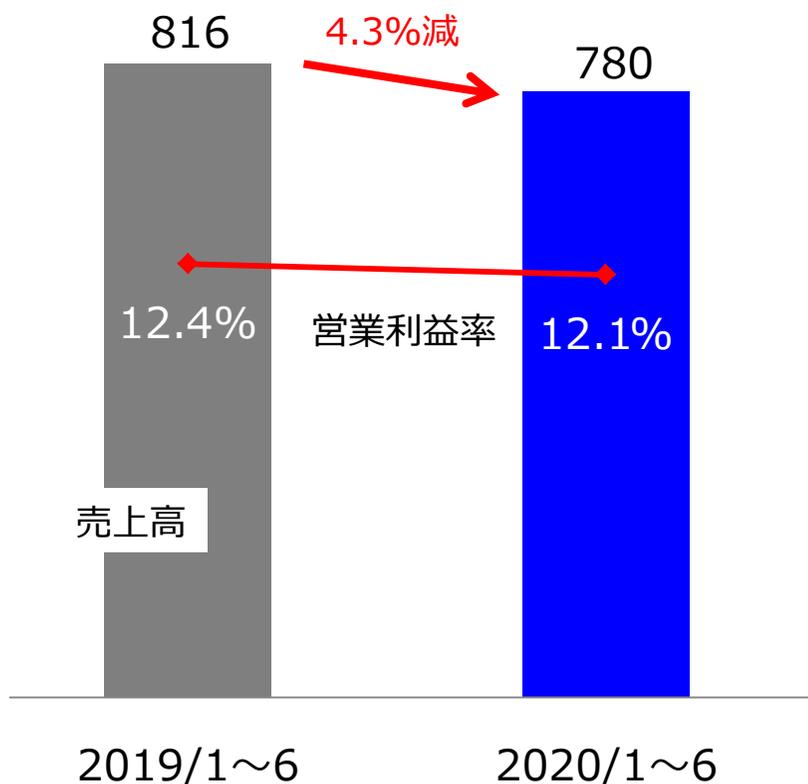


空間価値分野での成長に向けた付加価値提案に注力

顧客の安心・安全に向けて、感染拡大対策商品やテレワーク向け商品の拡販を進める

業績推移

(億円)



感染拡大対策商品／テレワーク向け商品



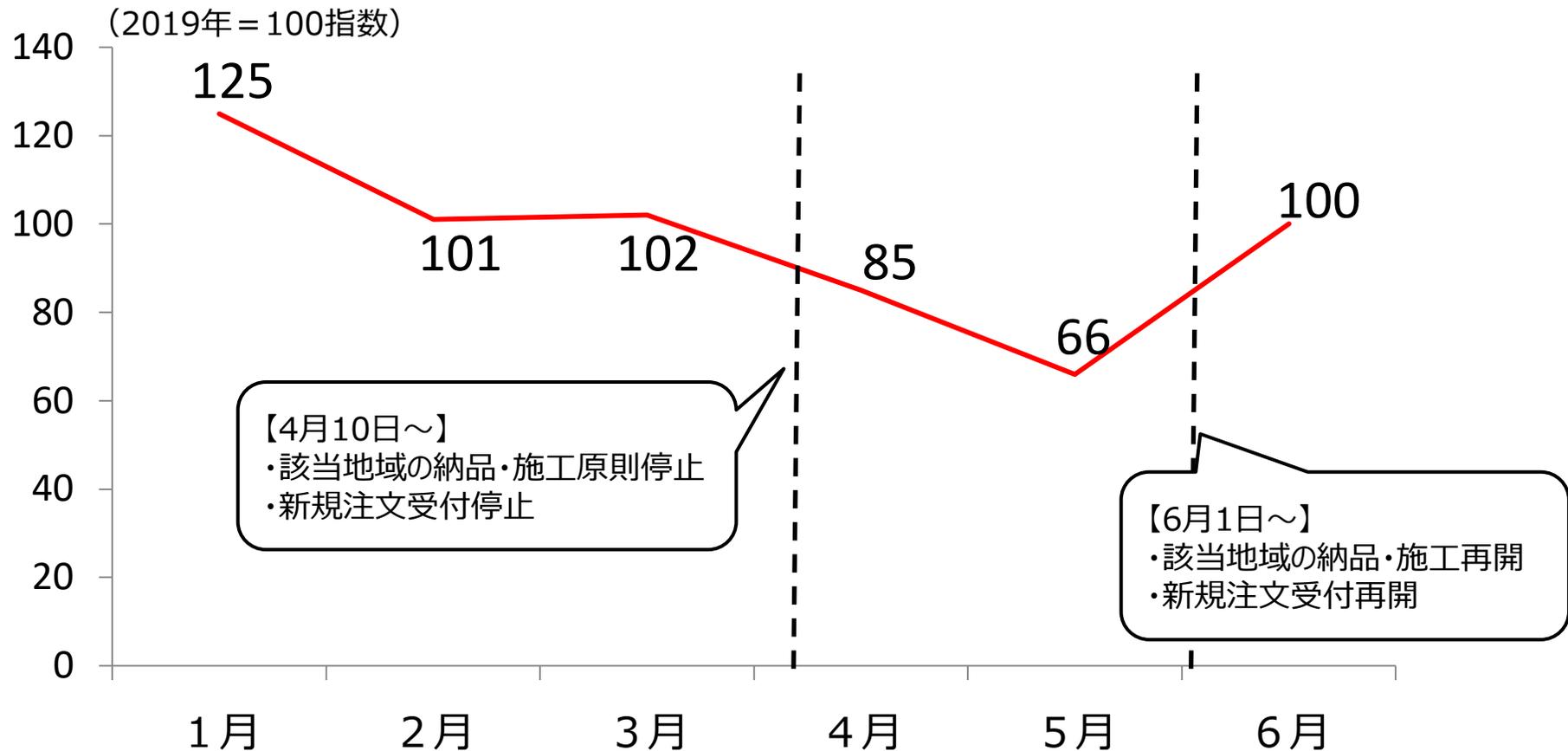
6ヶ月で約2万枚の亚克力板を販売



BtoC通販向け家具売上が
対前年で約3倍

コロナ影響による経済活動停滞影響により事業環境は急速に悪化
緊急事態宣言発出以降、顧客及び従業員の安全確保のため納品・施工を原則延期
緊急事態宣言解除後の6月は、4～5月の延期案件実施で回復傾向

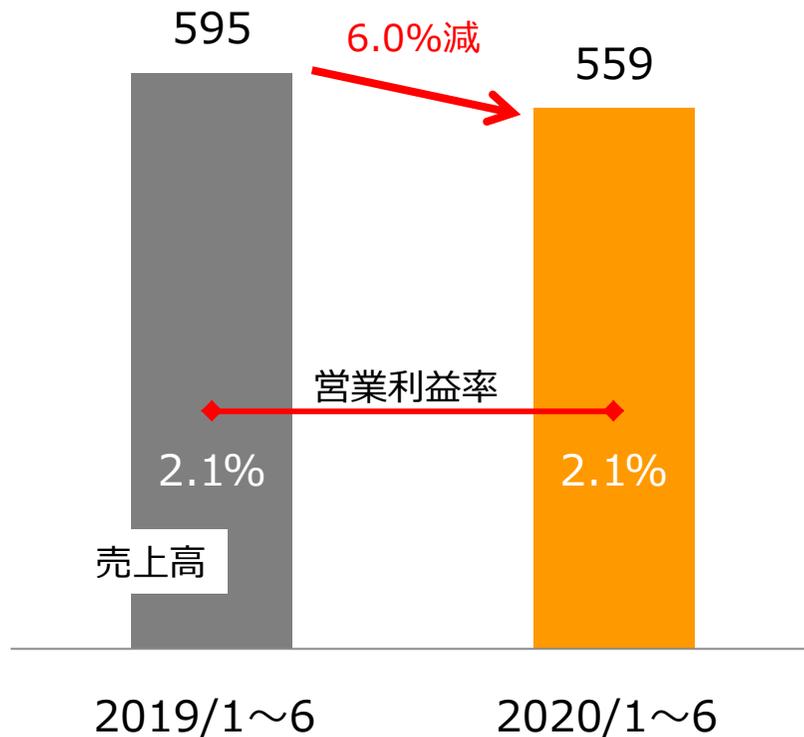
国内ファニチャー事業における月次受注高の推移(対前年)



事業の持続性向上に向けた構造改革や顧客基盤強化に取り組む
 在宅勤務拡大によるオフィス人員減少影響を受けるも、社会インフラとして商品確保・提供継続

業績推移

(億円)



衛生関連用品の確保と提供



会話しやすい口元ゆったりマスク
 (カウネットPB)



受付にちょうどいい手指消毒液
 (カウネットPB)



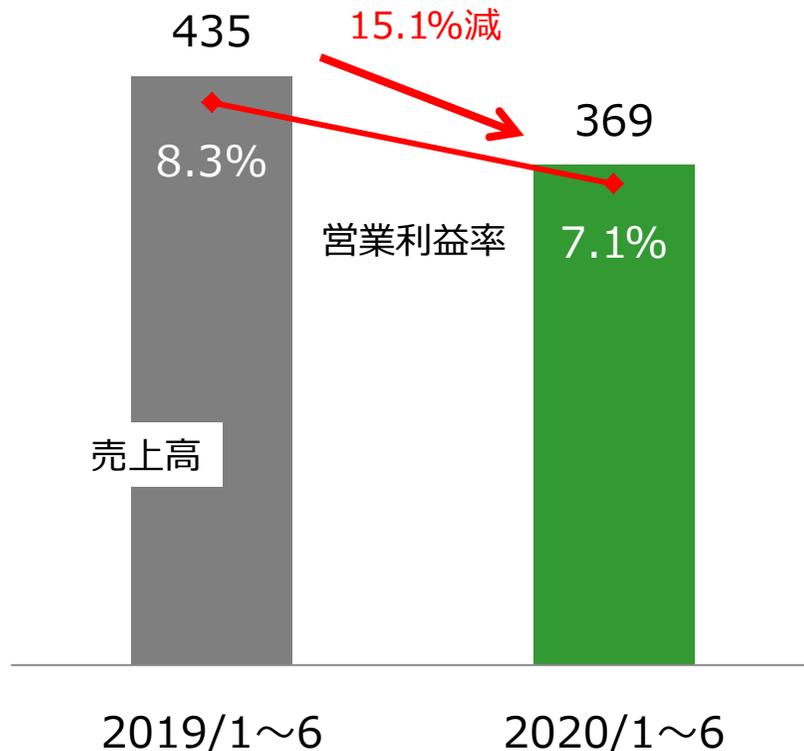
衛生的に取り出せるラテックス手袋(カウネットPB)

衛生関連用品売上高 対前年比10%増

グローバル文具市場でのシェア拡大に向けて、新たな成長領域の確保に取り組む
国内外ともに厳しい事業運営を強いられるも、事業継続と社会貢献を両立

業績推移

(億円)



簡易フェイスシールドの無償提供



ヘッドギアタイプ

マスク装着タイプ

計約18万枚を医療機関や大学に提供

インドを中心にコロナ影響継続、経済ロックダウン解除に改善傾向
 ぺんてるは、海外売上高比率が6割強を占め、欧米事業を中心に厳しい状況が続く

1. コクヨの海外事業の状況

✓ 海外ステーショナリー事業

エリア	動 向
中国	EC売上から回復傾向
インド	需要回復は先送り

✓ 海外ファニチャー事業

エリア	動 向
中国	成長市場(上海・深圳)にリソースシフト

2. ペンてるの海外事業の状況

- ✓ アジア販社不振及びコロナ影響により輸出減少
- ✓ 欧米事業が大きくコロナ影響を受ける
- ✓ 繰延税金資産の全額取り崩しに影響

1. 2020年12月期 第2四半期実績
2. 2020年12月期 通期目標
3. 第2次中期経営計画の進捗
4. 参考資料

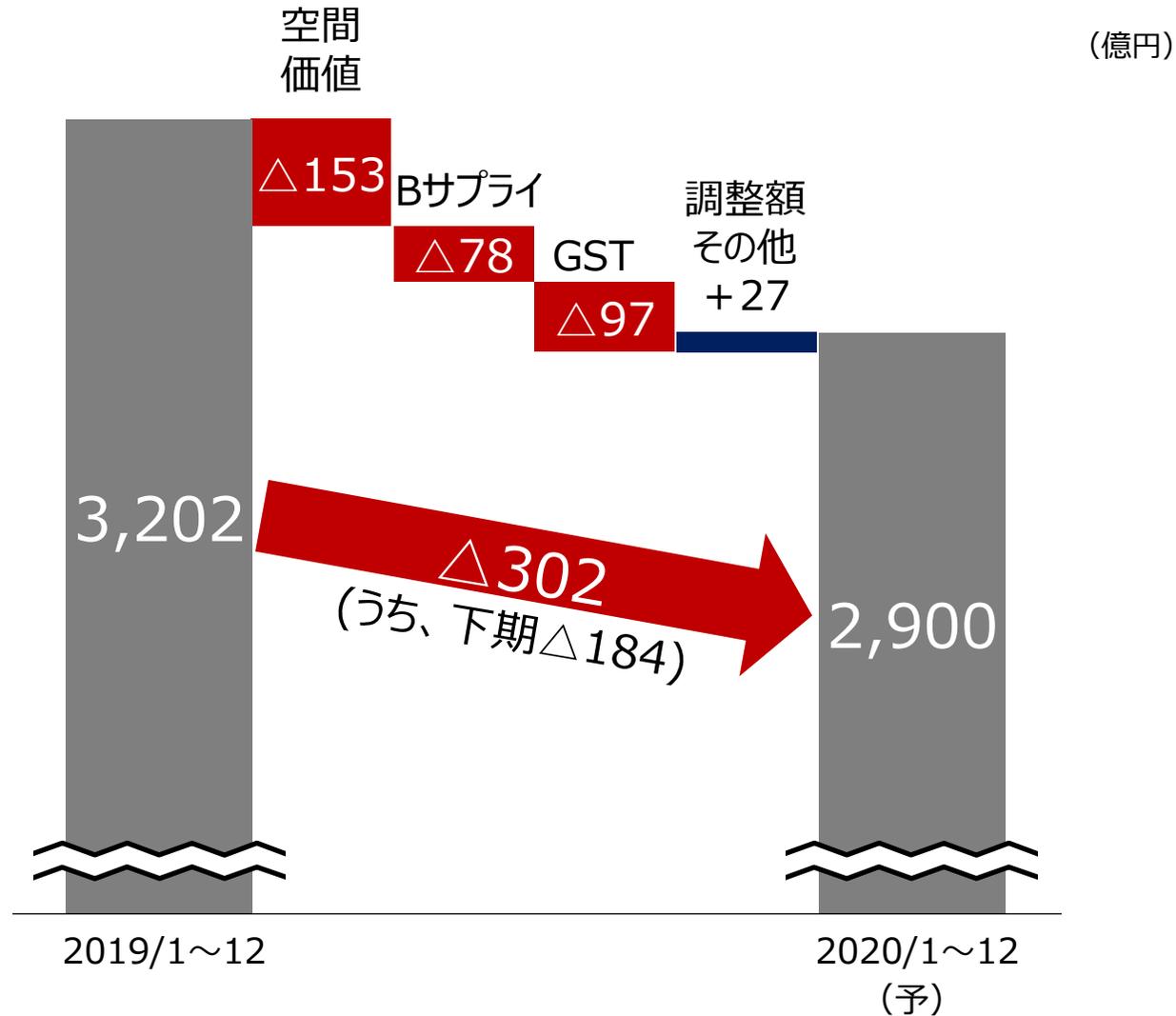
下期に至るまでコロナ影響が継続する見込み

コスト削減への取り組みによって採算改善を目指すも、販管費率は上昇し大幅減益見込み

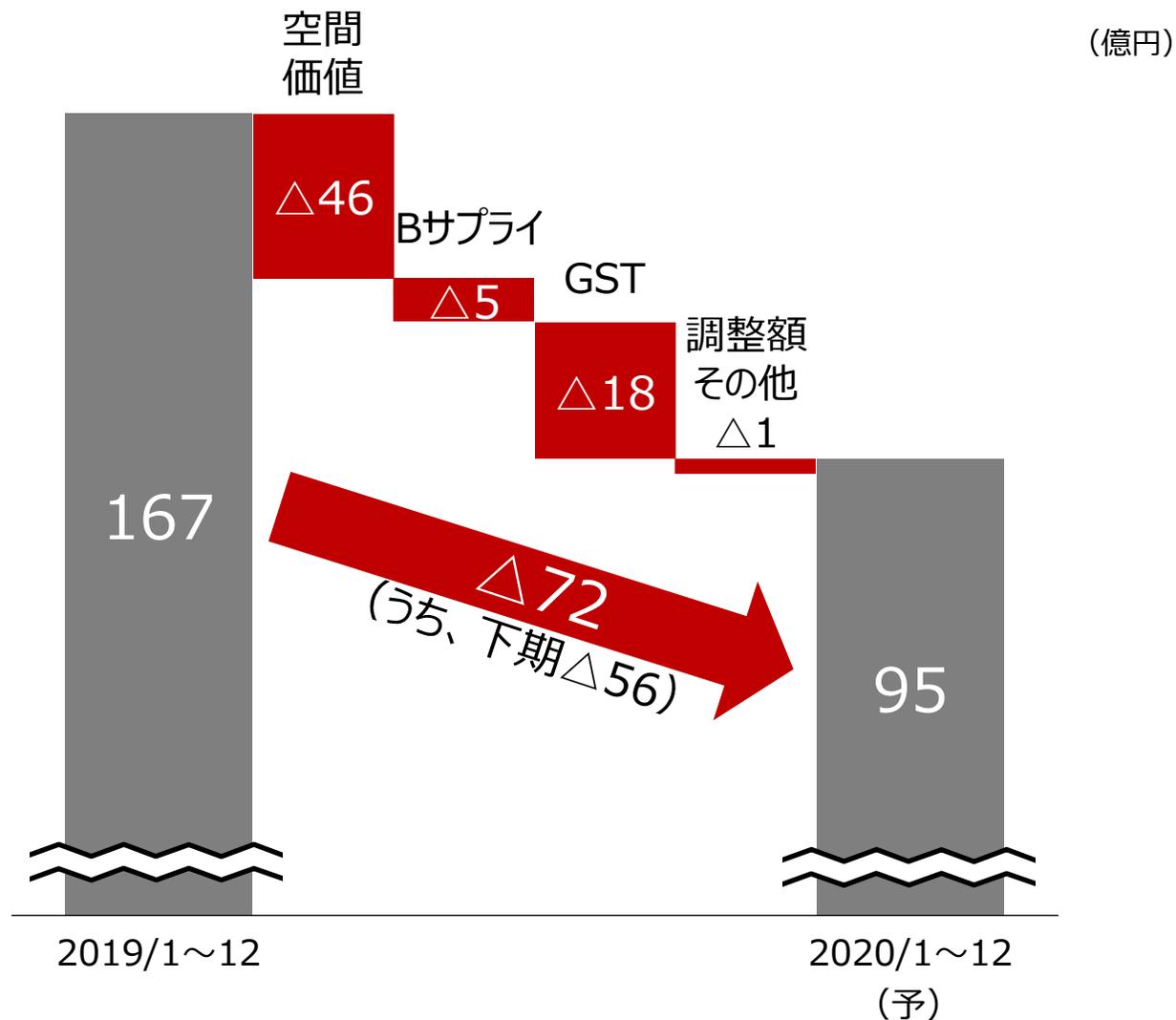
(億円)

	2019 実績	2020 目標	差額	増減率	2019 下期実績	2020 下期目標	差額	増減率
売上高	3,202	2,900	△302	△9.4%	1,525	1,341	△184	△12.0%
売上総利益	1,139	1,032	△107	△9.4%	525	455	△70	△13.3%
(率)	(35.6%)	(35.6%)	(+0.0p)		(34.4%)	(33.9%)	(△0.5p)	
販売費及び一般管理費	971	937	△34	△3.6%	474	461	△13	△2.7%
(率)	(30.4%)	(32.3%)	(+2.0p)		(31.1%)	(34.4%)	(+3.3p)	
営業利益	167	95	△72	△43.3%	51	△5	△56	-
(率)	(5.2%)	(3.3%)	(△2.0p)		(3.4%)	(△0.4%)	(△3.8p)	
経常利益	181	91	△90	△50.0%	55	△3	△58	-
(率)	(5.7%)	(3.1%)	(△2.5p)		(3.7%)	(△0.3%)	(△3.9p)	
当期純利益	153	50	△103	△67.3%	56	△12	△68	-
(率)	(4.8%)	(1.7%)	(△3.1p)		(3.7%)	(△1.0%)	(△4.7p)	

コロナ影響は続き、大幅減収が継続



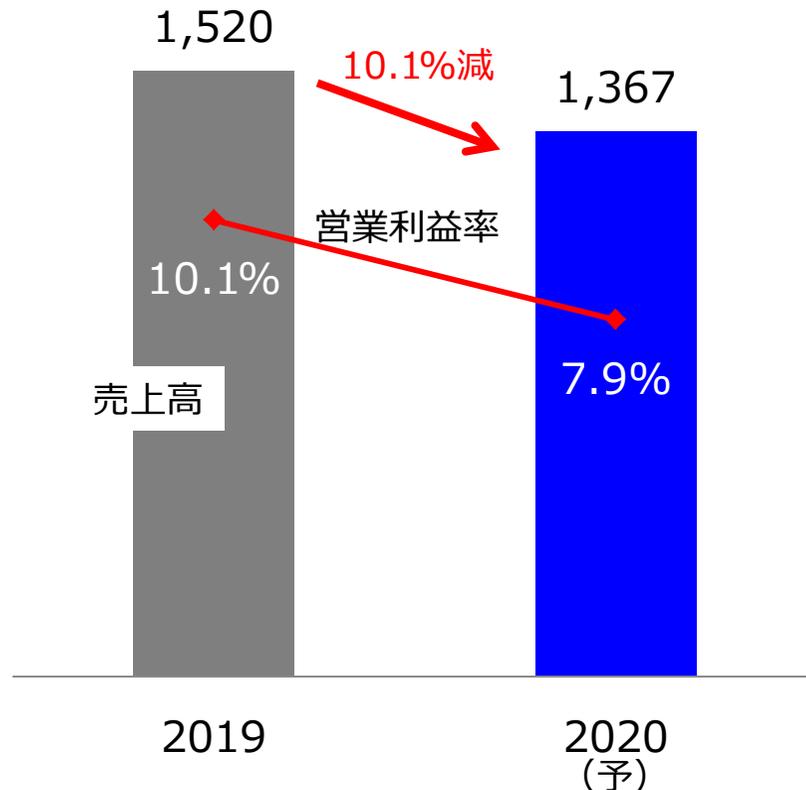
各ドメインにおいて減益が続く見込み



国内ファニチャーにおける案件確保遅れが続き減収減益を見込む
引き続き案件確保に努め、感染防止対策推進や従来の非注力市場への取り組みを強化する

業績推移

(億円)



教育市場に向けた取り組み

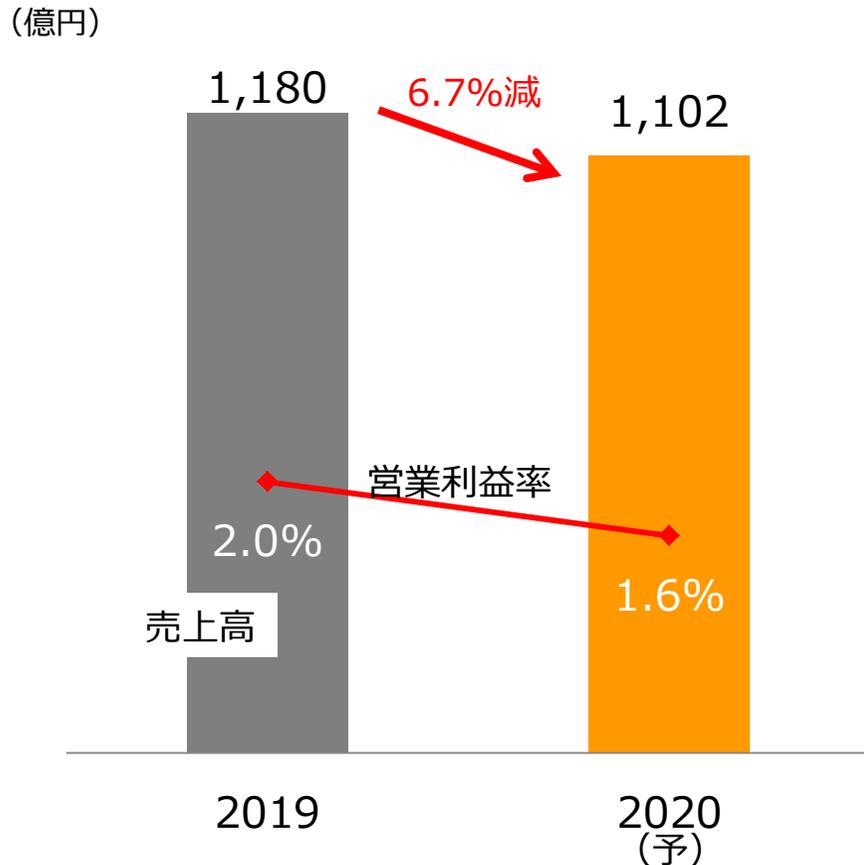


教育施設用家具「タブレットPC充電保管庫」

文科省「GIGAスクール構想」対応製品発売

顧客における在宅勤務継続やコスト削減等により減収減益を見込む
コロナ対応商品拡販やコスト削減ニーズへの対応力強化を狙う

業績推移



コロナ対応商品例(カウネットPB)

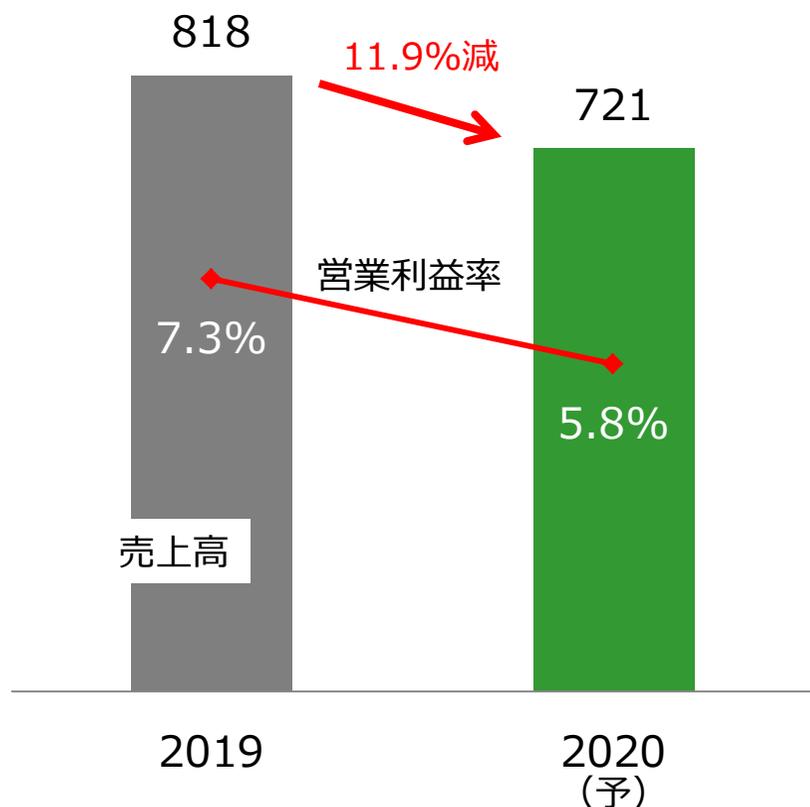


在宅ワークの拡大に向けた商材ニーズ拡大

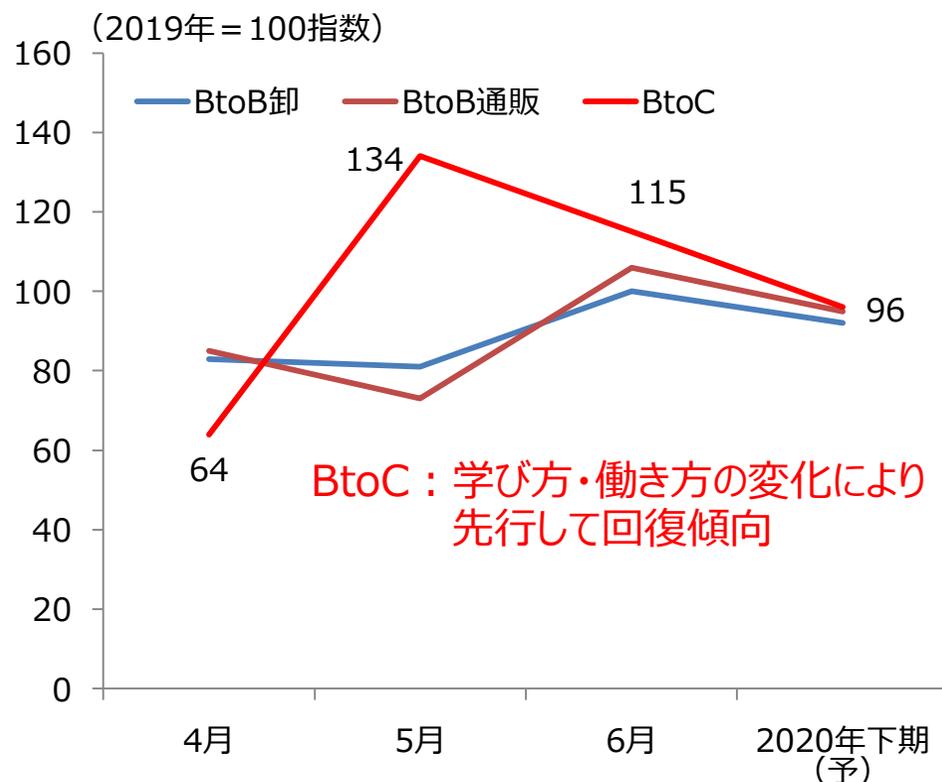
国内は、コロナ影響により変化する販売チャネル別・製品別対応強化
 海外は、中国ECを牽引役に成長トレンド回帰を目指す

業績推移

(億円)



チャネル別売上推移(国内ステーションナリー)



1. 2020年12月期 第2四半期実績
2. 2020年12月期 通期目標
3. 第2次中期経営計画の進捗
4. 参考資料

基本方針を持続的な成長力の獲得Smart & Sustainable Transformation 2021とする
メリハリを意識したスマートな稼ぐ力の向上と中長期事業成長を前提とした効率的な事業運営

第2次中期経営計画の基本方針
持続的な成長力の獲得
Smart & Sustainable Transformation 2021

3カ年における重点方針

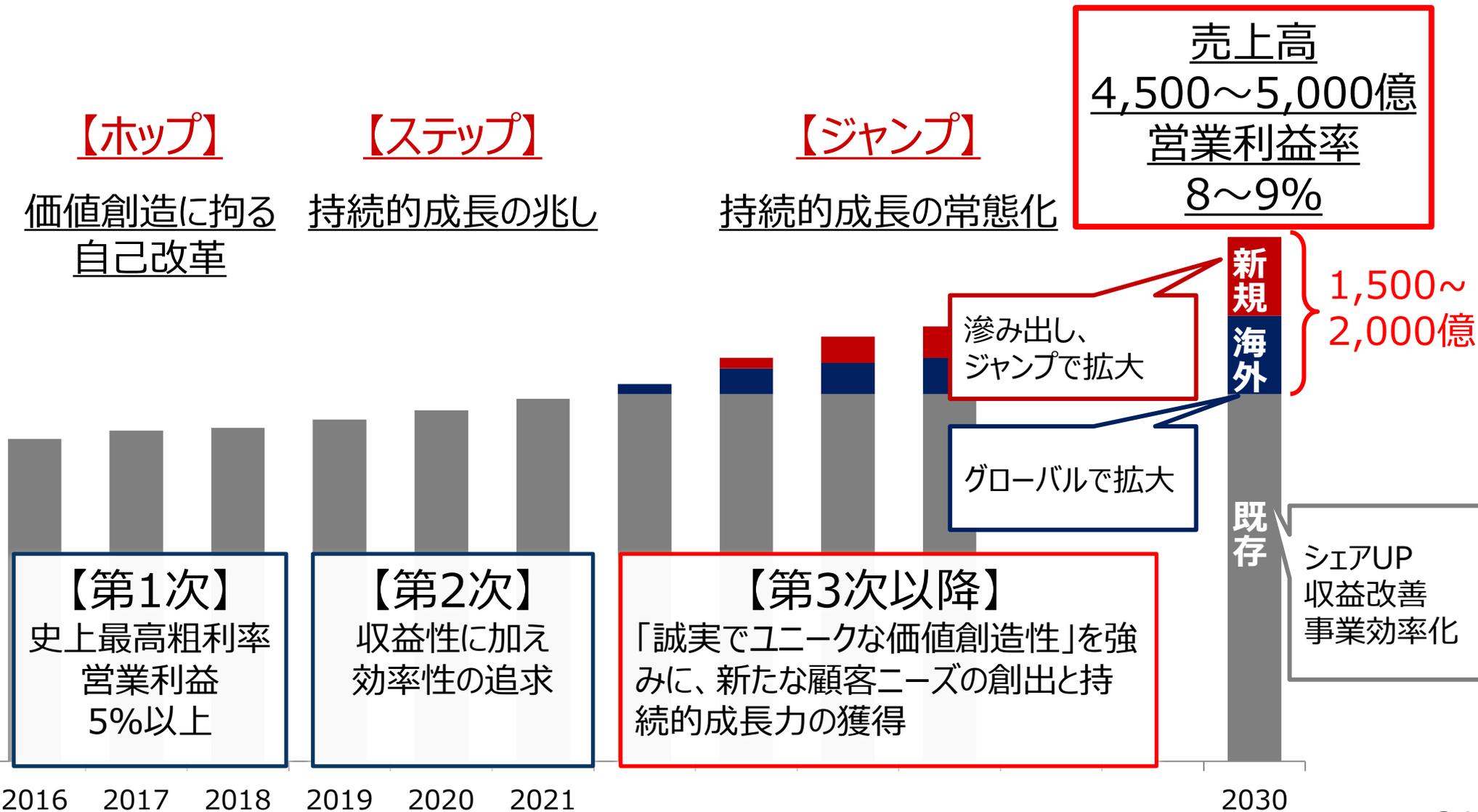
- ①メリハリを意識したスマートな稼ぐ力の向上
- ②中長期事業成長を前提とした効率的な事業運営

足元の業績動向に鑑みて2021年目標数値の見直しを実施中
 新たな目標数値は、2020年12月期第3四半期決算発表時に開示予定

各目標数値

	2018	2019	2020		2021
	実績	実績	当初予想	修正予想	目標数値
売上高(億円)	3,151	3,202	3,340	2,900	3,460→見直し中
営業利益(億円)	182	167	174	95	215→見直し中
設備投資(億円) (うち戦略投資)	40	48	100 (50)	80 (30)	150→見直し中 (100)
1株当たり配当額(円)	32.0	39.0	45.0	39.0	—
配当性向(%)	26.6	30.1	34.6	92.3	40.0→見直し中

2030年に売上高4,500億円～5,000億円に到達することをイメージ
 戦略概要につき、2020年12月期通期決算発表時に開示予定



環境激変により、当社が向き合う顧客ニーズ領域「はたらく」「まなぶ」に大きな変化
ドメインそれぞれが、大きな成長可能性を持つ

自律協働型社会と「はたらく」「まなぶ」

自律協働型社会の加速

はたらく



まなぶ



新たな持続的成長の可能性を「長期ビジョン」として策定
ダイナミックな成長戦略を具現化し、大胆なリソース配分を行うための「構造改革」をスタート

各ドメイン成長のポイント

空間価値ドメイン

- ・3つの事業領域における成長戦略の検証・具現化
(センターオフィス領域、住空間領域、分散化ワーク領域)

ビジネスサプライドメイン

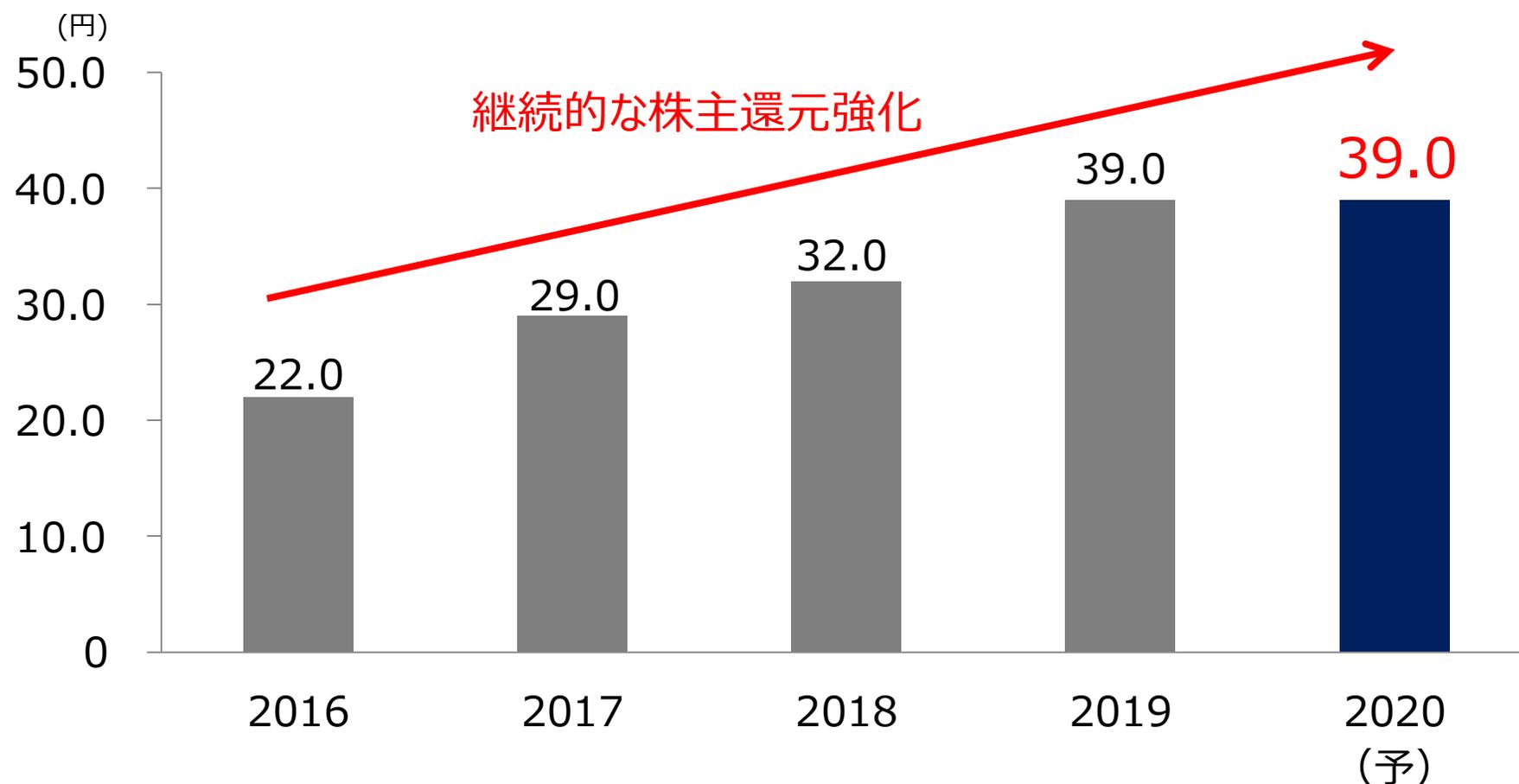
- ・個人ワーカースペース(BtoW)への取り組み
- ・流通事業全体の効率改善

グローバルステーションリー ドメイン

- ・他企業とのパートナーシップ模索・検証
- ・「コト」を提供価値とするサービスやソリューション提供

第2次中計において、更なる株主還元強化を目指し配当方針を策定
足元の業績や株主還元方針、財務健全性等を考慮し、通期39.0円を予定

1株あたり配当額の推移



1. 2020年12月期 第2四半期実績
2. 2020年12月期 通期目標
3. 第2次中期経営計画の進捗
4. 参考資料

(億円)

	2019 1~6	2020 1~6	差額	増減率
売上高	1,676	1,558	△118	△7.1%
空間価値	816	780	△35	△4.3%
ビジネスサプライ	595	559	△35	△6.0%
グローバルステーショナリー	435	369	△65	△15.1%
その他	12	12	△0	△3.5%
調整額	△183	△164	+18	-
営業利益	116	100	△15	△13.2%
(率)	(6.9%)	(6.5%)	(△0.5p)	
空間価値	101	94	△7	△7.1%
(率)	(12.4%)	(12.1%)	(△0.4p)	
ビジネスサプライ	12	11	△0	△11.1%
(率)	(2.1%)	(2.1%)	(△0.0p)	
グローバルステーショナリー	35	26	△9	△26.5%
(率)	(8.3%)	(7.1%)	(△1.1p)	
その他	0	0	△0	-
(率)	(5.3%)	(4.9%)	(△0.4p)	
調整額	△34	△32	+2	-

2020年12月期 セグメント別通期目標 (対前年)

(億円)

	2019 実績	2020 目標	差額	増減率
売上高	3,202	2,900	△302	△9.4%
空間価値	1,520	1,367	△153	△10.1%
ビジネスサプライ	1,180	1,102	△78	△6.7%
グローバルステーションリー	818	721	△97	△11.9%
その他	26	24	△2	△9.2%
調整額	△344	△314	+30	-
営業利益	167	95	△72	△43.3%
(率)	(5.2%)	(3.3%)	(△2.0p)	
空間価値	153	107	△46	△30.0%
(率)	(10.1%)	(7.9%)	(△2.2p)	
ビジネスサプライ	23	17	△5	△24.5%
(率)	(2.0%)	(1.6%)	(△0.4p)	
グローバルステーションリー	60	41	△18	△31.0%
(率)	(7.3%)	(5.8%)	(△1.5p)	
その他	1	0	+0	△100.0%
(率)	(5.3%)	(0.0%)	(△5.3p)	
調整額	△70	△71	△0	-

〒108-8459 東京都港区港南1-2-70品川シーズンテラス18階
コクヨ株式会社 財務経理本部IRユニット
e-mail : ir@kokuyo.com

KOKUYO

*本資料で記載されている業績予想、将来予測は現時点における事業環境に基づき当社が判断した予想であり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる場合があることをご承知おき下さい。